



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T

風に向かって、風とともに

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年8月6日発行 第325号

2012-2013年度 No. 5



本日のプログラム

平成24年8月6日
卓話 『文化芸術の力』
文化庁 長官
近藤 誠一 様

プロフィール

1946年神奈川県生まれ。
1971年東京大学教養学部教養学科イギリス科卒業、同大学院法学政治学研究科を中退し、1972年外務省入省。
1973～1976年英国オックスフォード大学留学。国際報道課長、在フィリピン大使館参事

官、在米国大使館参事官、同公使、経済局参事官、同審議官、OECD事務次長、広報文化交流部長、国際貿易・経済担当大使等を歴任。
2006～2008年ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、2008年駐デンマーク特命全権大使。
2010年7月30日より現職。

クラブからのお知らせ [7月30日]

● 松島会長挨拶

- 本日は、国際ロータリー第2750地区の佐久間ガバナーをお迎えしての例会です。
- ロンドン・オリンピックが開催されました。私たち日本人の関心は、専ら日本人アスリートのメダル獲得であり、選手自身もそれを目標にしていますが、四年に一度、五輪の舞台に立って、持てる力を総て出し切ることにオリンピックの素晴らしさがあるように思います。

● 関口幹事報告

- 新会員入会のお知らせ
8月6日付けで、株式会社ケー・デー・シー代表取締役社長の高柳公康氏が当クラブに入会致します。推薦者は山口富久氏と浅田豊久氏です。職業分類は、大分類T：情報サービスの中のT-1. システム開発で、配属先委員会は親睦活動委員会です。

● 8月のスケジュール

次週8月6日(月)の例会では、卓話者に文化庁長官近藤誠一様をお招きして「文化芸術の力」という演題でお話ししていただきます。日本の文化政策を続ける現役の文化庁長官のお話をお聞きすることが出来る良い機会ですので、是非ご出席の程お願いいたします。

この例会については、山の手東グループの各クラブにもアナウンスをしておりますので、他クラブからのビジターも多数お越しいただける予定です。

また、8月の第2週と第3週は休会ですので、お間違えのな





平成24年7月9日

卓話『新年度を迎えて』

RI第2750地区 山の手東グループガバナー補佐

大和田 弘 様

山の手東グループガバナー補佐の大和田でございます。私は2つの奉仕について前々から興味がありまして、東京西ロータリーの会長のとき2つの奉仕について勉強し、その思い出として今日お話しをするわけでございます。

ロータリーに関する考え方は色々あると思いますが、最近のRI会長の考え方を例に考えてみたいと思います。2005～6年の会長はカール・ステンハマー氏で、彼は超我の奉仕と言われました。これはロータリーをミニ国連にして世界中に広めようという考えでした。2003～4年度の会長はリチャード・ガタクー氏です。タイの国会議員として永く活躍された立派な方で、彼はロータリーには2つの弱点があると言われました。1つは継続性がないこと。もう1つはロータリーの哲学を忘れてしまっているのではないかとということです。忘れ去られている職業奉仕を大事なテーマとしてとりあげていく必要があると主張されたのです。本年度のRI会長は田中作次さんです。テーマは「奉仕を通じて平和を」です。本テーマは超我の奉仕を強調する国際奉仕を意味するものと私は思っております。

私はロータリーとは自分たちの事業を倫理的、道徳的に高いものにしていくために奉仕の理想を学び、実践し、それを世間に広めていく団体だと思います。ロータリー綱領の主文に「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し……」と書いてあります。一般の職業奉仕を旨としない社会奉仕団体であれば、恐らくこの「有益な事業の基礎として」ということはないと思います。

これだけ大事な職業奉仕が何ゆえに忘れ去られてつづつあるのだろうか。具体的な奉仕として理解されにくく、どう奉仕すればよいのかが分からない、クラブや地区グループとして奉仕しても、その成果が出にくいということです。

世界は大変グローバル化しており、すぐ隣のこと、地球の裏のことが同時に分かる時代です。そのためにやはりロータリーは世界社会奉仕をやっていかなくてはなりません。ロータリーが国際奉仕を始める一歩は、第一次世界大戦を止める力がなかったロータリアンが、平和や親善の問題について理解し合おうということだったと言われます。再び第二次世界大戦を阻止することができなかった結果、浮上してきたのが世界社会奉仕です。ロータリーの世界社会奉仕の中心的なプロジェクトとしてポリオ・プラスが大きな成果を上げたことは皆さんご承知の通りです。それが喜ぶべきことなのか、いろいろと論議がありますが、そのために会員増強を最優先に考えなくてはいけないことになり、ロータリーが少しずつ変化してきたという気がしないでもありません。

今日、ロータリー本来の職業奉仕にやや陰りが見えているかなとは、私ばかりでなく皆さんもあるのではないかと思います。やはりロータリーの原点は職業奉仕、そして“I serve”です。“I serve and enjoy Rotary”ということでご勘弁願いたいと思います。ありがとうございます。





2012年7月30日 ガバナー公式訪問・七者懇談会

7月30日午前11時20分より、ガバナー公式訪問例会に先立ち、佐久間崇源ガバナー、大和田弘ガバナー補佐、相川和宏グループ幹事及び松村信幸地区副幹事をお迎えし、当クラブからは佐藤晃一特別代表、松島正之会長、平松和也会長エレクト及び小職が出席して、七者懇談会が開催されました。

冒頭、松島会長より当クラブの概要・沿革についての説明がなされ、創立時の佐藤特別代表のご意向でもある会員の男女比率7対3がベスト・ミックスであり、今後の会員増強（本年度目標は若干名の純増）においてもこの比率を可能な限り維持したい旨を述べられました。続けて、本年度が8年目となる当クラブの運営方針に関して、10周年に向けて実力を蓄え橋渡しをする年度と位置付けていること、「風に向かって、風とともに」という本年度のテーマの意義、そして、具体的には国際奉仕の充実と日本の人口減少、高齢化等の人口問題に対する取り組みを単年度計画ではなく数力年計画として検討する方針との説明がなされました。

佐久間ガバナーからは、当クラブについて、バランスのとれたとても良い状況にあるとお褒めの言葉を頂戴しました。そして、30年ぶりの日本人会長である田中作次RI会長に対する一番の支援は、会員増強と寄付であるとお話がありました。とりわけ長期的に会員数が減少傾向にある日本のロータリー・クラブにおいては、会員純増はクラブの力となると共に田中会長の本年度の功績にもつながることから、当クラブのバランスを維持しつつ計画の前倒しをお願いしたいとのことでした。

佐久間ガバナーは車の運転がご趣味で、特に車のエンジン音がお好きとのことで、本日もメルセデスの白のクーペをご自身で運転されて当クラブにいらっしゃいました。外面的にはとても物腰の柔らかい佐久間ガバナーですが、地区の統括者としての、エンジンを轟かせたかの如き深い情熱を感じました。

本日は大変和やかな雰囲気の中で貴重なお話を伺うことができて、佐久間ガバナー、大和田ガバナー補佐、相川グループ幹事、松村地区副幹事のご来訪に心より感謝申し上げます。（記：関口明博幹事）



2012年7月17日 六本木ロータリーワイン同好会



7月17日、午後7時から日本ナンバーワンソムリエの佐藤陽一さんのお店Maxivinにてワイン同好会が開かれました。参加者は、松島会長、安間さん、三田さん、渡辺美智子さん、渡邊滋さん、松本さん、阿部さん、秋津さん、私の9名でした。今回は、従来のワイン会とは趣を変えて品種毎の違いを確かめ

てみようという企画です。今回の御題は、白ワインの王道シャルドネです。

シャルドネのみで作られたシャンパンから始まり、フランスからタイプの違うシャブリを2本、その他イタリアの名門ガヤのシャルドネ、ニュージーランド、そしてカルフォルニアのHdvのシャルドネ（ホワイトハウスの公式晩餐会で出される白）の計6本のシャルドネを食事に合わせて頂きました。

そしてお肉に合わせては、私が持参したシャトー・ディッサン1999のマグナムを、締めは秋津先生持参の1967の珍しいソーテルヌを味わいました。

特に、テーマのシャルドネは6本ともまるで違う味わいで同じ葡萄での様々な有り様を微酔いながらも真剣に学びました。9人で9本分のワインは、すっかりお腹におさまり楽しい時間が過ぎてゆきました。（記：中島信二会員）





ニコニコBOX情報

榊原 節子さん(東京恵比寿RC)

私の兄 水島裕が生前は六本木ロータリーで大変お世話になりました。

山口 富久さん

熱中、暑中と寝不足のお見舞い申し上げます。
佐久間ガバナーいらっしやいませ。

山中 祥弘さん

地区ガバナー佐久間様のご指導よろしくお願ひいたします。
誕生日祝・感謝。

小篠 ゆまさん

今日は佐久間ガバナーのお話を大変楽しみに致しております。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

安間 百合子さん

佐久間ガバナー、本日はお暑い中ありがとうございます。

松島 正之さん

佐久間ガバナー、本日は、ご来訪ありがとうございます。
卓話を楽しみにしています。

今村 道子さん

猛暑の週末に伊勢神宮にお参りし、たくさんの“気”を頂いてまいりました。元気に夏を超えていけそうです。

齋藤 明子さん

佐久間ガバナー、本日はありがとうございます。
よろしくお願ひいたします。

森 佳子さん

佐久間ガバナー、今日はご多用の中御来会下さいまして有難うございます。

安井 悦子さん

佐久間崇源ガバナー、本日はありがとうございます。
一年間ご指導をよろしくお願い致します。

荻田 吉夫さん

佐久間ガバナーの御来訪を歓迎し、卓話を楽しみにしております。

浅田 豊久さん

佐久間ガバナーのご来訪を歓迎申し上げます。

山本 良樹さん

オリンピックの開会式、時代を感じさせる演出でした。

渡邊 滋さん

暑いですね。
「向日葵の一茎一花咲きとほす」 津田清子

| | | |
|-------|-----|----------|
| 7月30日 | 合 計 | 50,000円 |
| | 累 計 | 252,000円 |

次回のプログラム

平成24年8月27日

卓話『IMF・世界銀行の役割と日本の貢献』

財務省 IMF・世銀総会準備事務局長

仲 浩史 様

プロフィール

S36年1月 生まれ
S58年3月 京都大学法学部卒業
S58年4月 大蔵省入省(国際金融局調査課)
H元年5月 在ロス・アンジェルス総領事館領事
H3年6月 大蔵省銀行局調査課課長補佐
H5年7月 東京国税局総務部総務課長
H7年7月 大蔵省国際金融局金融業務課課長補佐
H9年6月 日本輸出入銀行海外投資研究所研究員(ロンドン駐在)
H12年7月 金融監督庁監督部金融会社室長
H13年7月 金融庁総務企画局信用機構課保険企画室長
H14年7月 財務省国際局国際機構課企画官
H15年8月 米州開発銀行(IDB)財務局次長
H18年7月 財務省国際局調査課長
H20年7月 財務省国際局開発政策課長
H21年7月 財務省国際局総務課長
H23年7月 現職

『今週の言葉』

小才は縁にあって縁に気づかず、
中才は縁に気づいて縁をいかさず、
大才は袖振り合う縁も生かす

〔柳生家の家訓〕

人は、自分独りでは生きられない。人に生かされ、生きていくのだ。人との出会い、繋がり、絆こそ人生の醍醐味である。人との出会がどういった触媒作用をおこすか、それによって人生行路は変わる。「一期一会」、いろいろな出会いを大切にしたいものだ。ロータリーでの出会いは、神様からの贈物に違いない。

(松島正之会長)

7月30日の例会出席率(暫定)

・会員の例会出席数(出席率) 26名(57%)
・ゲスト・ビジターの参加者数 11名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 安井 悦子
委員長

広報・週報 渡辺 美智子
副委員長

事務局》〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/